Rokko Catholic Church Bulletin

六甲カトリック教会 教会報

2021
5
No.593

晴れやかに 初聖体・祝福式

＜教会学校＞

4月11日(日)復活節第2主日午前10時のごミサの中で、教会学校の子どもたちが初聖体・祝福を受けました。それまでの1か月近くは、毎週土曜・日曜のお天気がすぐれず、曇りや雨ばかりでしたが、この日は打って変わって爽やかな風がそよぎ、晴天に恵まれました。

幼児洗礼を受けた子どもは、教会学校に入ります。そして小学2年生になって1年間は、より深く神さまについて学びます。3年生になって初めてご聖体をいただくことができます(学年については各小教区によって異なることがあるそうです)。また六甲教会では洗礼を受けていなくても教会学校で同じように2年生から1年間一緒に勉強した子どもは共に参列して神さまのお恵み―祝福を受けることができます。今年は5人が初聖体、1人が祝福を受けました。

コロナウィルスが日本に上陸して1年が経ち、終息するどころか、兵庫県の PCR 陽性者の数は増え続け、ついに神戸市・芦屋市・西宮市・尼崎市にマンボウ(まん延防止等重点措置)が対象地域として指定されました。そんな暗いニュースのなか、子どもたちの輝く姿は本当にまばゆいばかりでした。記念写真もマスクをしたままでしたが、瞬間的にマスクを外して撮影され、かわいいというより、美しい容姿を収めることができました。

私たち大人も初心に帰って神の体を中に取り入れることの感謝と意義をあらためて考えさせられました。

おめでとうございます！そして神に感謝！　　(編集部)

【初聖体・祝福式 子どもたちの感想文】

マリア・ラファエラ 千原 芽希

神父さまに、名前をよばれてみんなで前にならんだとき、少しはずかしかったです。だけどご聖体をいただく時は、はずかしさをわすれていました。きになっていたご聖体は、味はあまりしなかったけど、ミサがおわるまで口の中にのこりました。

マリア・テレサ 西田 彩華

初聖体にむけてご聖体についてべん強して、ご聖体がイエス様の体であることを知りました。ご聖体をいただくために、私もやさしい人になろうと思いました。初聖体しきで初めてご聖体をいただいて味はしなかったけどうれしかったです。

マグダレナ・ソフィア・バラ 西田 あん

わたしは、はつせいたいで、きんちょうしました。なぜなら大ぜいの人のまえだったから。すこしうれしかったことは、かみさまが、わたしの体の中に入ってくださったから。かんしゃの気もちは、みんなといっしょにべんきょうして、みんなのいけんを聞いて気づくことができたことがうれしかった。

カブリエル 濱野 優莉菜

初聖体のお勉強をしているうちに、今まで知らなかったり、分からなかった神様・イエス様のことが、よく分かりました。お勉強をはじめてから初聖体をうけるまで、とてもたのしかったです。

トマス アクィナス 矢田部 宗介

ごせいたいのあじってどんなだろうと思った。あじはふつうだった。家族や親せきもよろこんでおいわいしてくれると思った。おいわいをしんぷさまからもらって中みはなにと思った。中みはじゅうじかとせいしょだった。

安賀 恵

今日のしゅくふくしきで私は、イエスさまが近くにいてくださる気がしました。そしておちこんだりさみしくなった時にやさしいことばをかけてくださるような気もちになれました。これからもさみしくなったりおこってしまった時にはイエスさまに自分の気もちをつたえたいと思います。そしてもっとみんなとなかよくしながらかみさまのことを学んでいきたいです。

【保護者の感想文】

西田 悠(西田 彩華保護者)

初聖体式を迎えるにあたり、娘が改めて神様と向き合う機会がたくさんありました。今まで家庭内でしっかりと神様について話し合うことがありませんでしたが、初聖体式の準備の勉強の中で子どもとテーマについて話すことで親ももう一度神様を感じることができました。

初聖体式を終え、今後も家族で神様に向き合い、感じる時間を共有できれば良いなと思いました。

安賀 卯衣（安賀 恵保護者）

子どもたちは、初聖体・祝福式を迎え神様、神父様、リーダー方そしてミサに参加して下さった方々、家族の愛に守られていることを実感してくれたことと思います。

私自身、列席している間、感謝の気持ちで胸がいっぱいになりました、このコロナ禍で「いつも通り」が難しい中 準備して下さった方々 本当にありがとうございました。

5月の主日ミサ予定表

日	時	地区（グループ）	
1日（土）	18時	地区を問わず	第１グループ
2日（日）	7時半	地区を問わず	灘北１・北三田
	10時	第１グループ	灘北２・阪神
	11時半	第２グループ	灘南・神戸西
8日（土）	18時	地区を問わず	
9日（日）	7時半	地区を問わず	第２グループ
	10時	第２グループ	灘西・中央
	11時半	第１グループ	東灘北１
15日(土)	18時	地区を問わず	東灘北２・芦屋
16日(日)	7時半	地区を問わず	東灘南
	10時	第１グループ	
	11時半	第２グループ	
22日(土)	18時	地区を問わず	
23日(日)	7時半	地区を問わず	
	10時	第２グループ	
	11時半	第１グループ	
29日(土)	18時	地区を問わず	
30日(日)	7時半	地区を問わず	
	10時	第１グループ	
	11時半	第２グループ	

◇◆◇地区会より◇◆◇

2021 年度地区会役員一覧表と地区分けの地図です。転入、新受洗者の方々など、ご自分の住所の地区を確認しておいて下さい。（地区会役員代表 井川 直哉）

2021 年度地区会役員

		地区長 ブロック長	副地区長	副地区長
7 地区	灘北 1	蛭田 和子	中村 節子	福島 きよ子
	灘北 2	藤井 敦子	小柳 貞子	中西 裕樹
	灘南	三垣 恭子	長瀬 三千子	山縣 晴代
	灘西・中央	江本 佐和子	島本 郁子	古賀 桂子
	東灘北 1	尾崎 浩子	佐藤 秀聡	多田 純子
	東灘北 2・芦屋	井川 直哉	米村 純一	野村 壽子
	東灘南	林 和俊	林 聖子	林 久仁子
3 ブロック	神戸西	田中 雅子		
	北・三田	森川 房代		
	阪神	大上 尚子		

洗 礼 式

コロナ下、緊急事態宣言は解除されたもののすぐに「まん延防止等重点措置」がとられきびしい環境の中でしたが、今年はなんとか聖週間のミサに与ることが出来ました。そして4月3日（土）19時の復活徹夜祭のミサでは10人の方々の洗礼式が行われました。復活の光を放つ新しいロウソクのもと、洗礼式の序曲ともいうべき「連願」が聖堂の左右袖から唱えられ、アルフレド神父様と増井神父様がそれぞれ司式されました。祭壇の前にずらりと並んだ受洗者と代父、代母のみなさん。会衆の祝福の拍手。豊かな心持になりました。

趣味百景

弓　道

志田 智徳

弓道は柔道、剣道の三古武道の一つですが、動的な柔道、剣道と大きく異なり、相手は静止する紙製の的であるのが特徴です。私は学生時代に始めて、今は王子公園にある弓道場で楽しんでいます。的中した時の爽快な音が素晴らしいのです。

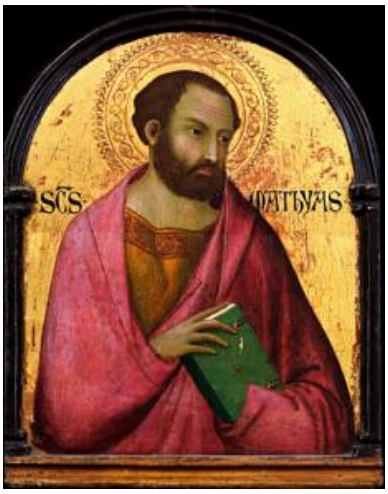
私が弓道を始めた動機は、個人プレーで体格と体力に適した弓を使用すれば 誰でも対等に競技でき、楽しむことが出来ることでした。具体的には、直径36センチの円形の的に28メートルの距離から矢を放ち的中させ勝負を競う競技です。弓を引く射場では、白木綿上衣、黒の袴、白の足袋 を着用しなければなりません。競技の際は応援者、見学者も静寂を保ち弓を引いている際に「一本」という発声のみが応援で許されています。

弓を引いている 写真は、弓道会の定例大会のものです。

スポーツとしては年配になってから始めても動きが激しくなく無理が無いので入り易く、年齢、性別、体力の差別なく一緒に練習出来るので、気持的にも体の機能も若々しい人が多いです。例えば65歳以上の国体「ねんりんピック」の種目に弓道も あり、北海道大会では選手として出場しました。ねんりんピック開催地での歓待アトラクション、食事、試合終了後の旅行なども楽しみです。今年は新型コロナでねんりんピックも中止となってしまいましたが、再開された際は、88歳以上の超高齢者枠で出場出来ればと思っております。

今月の聖人　5 月

☆ 聖マチア ☆



教会行事予定表を見ると、教会歴の 5 月 14 日の欄に聖マチア使徒と記載されています。はて聖マチアって？調べてみるとマチアは、十二使徒のひとりであったユダが裏切りで脱落したので、その補充のために、くじ（籤）で新しく使徒仲間に加えられた人物だということです。もう一人ユストという候補者がいたようですが、くじびきで使徒を選ぶというのはなんかイージーだなあ、と思ったことです。でもこれは「主のみこころ」であったのでしょう。（使徒言行録 1 章 23～26 節）候補者が二人あればどちらも採用すればいいのに、とはならないのです。「十二」のこだわりは古代ユダヤ十二部族に由来するものと言われています。そして聖書の別の箇所、ヨハネ 15 章 16 節では「あなたがたがわたしを選んだのではない。わたしがあなたがたを選んだのである」と主は仰せられています。私たちの意思はそれが正しければすべて主のみこころなのです。

（詫 洋一 記）

§図書室からのお知らせ§

≪3 月に図書室に図書の寄贈をいただきました。ご案内いたします≫

マザーテレサ来てわたしの光になりなさい‼

―― ブライアン・コロディエチェック MC 編集・解説　　女子パウロ会

初めて公開されたマザーの私的書簡集　600 頁余

「もし私が聖人になるとしたら、きっと暗闇の聖人になります。地上で闇に住む人たちに光を灯すために、いつも天国を留守にすることになります。」と語ったマザーの霊的生活、いや全生涯を知る鍵となる書です。

****

≪お願い≫

※　教会に図書を寄付・寄贈される方は、信者や教会図書室利用者に、その図書の推薦文や、教会図書室に相応しい旨のアピールを添えて事務所に申し出ください。
またお気付きのこと、希望の図書等ご遠慮なくお知らせ下さい。

※　18 年 12 月に一冊ですが購入した『聖書　聖書協会共同訳』が見当たりません。借り出しのままお手元にお持ちの方、またゆくえをご存じの方事務室までお知らせください。

六甲春秋

中村健三神父によるエッセー 第23回

◆ 手の無い十字架 ◆

5月は、教会の暦によれば何かと忙しい月です。四旬節が過ぎ、荘厳な聖週間が終わり、40日にわたる主イエスの復活を祝い、昇天と聖霊降臨、さらに三位一体の神秘を祝う主日を経て、やっと通常の年間週がはじまります。はるか昔のイエズス会の修練院の用語では、オルド　ソリトスという普段通りの生活に戻ります。さて私の部屋の窓から屋外の景色を眺めると、サクラも藤の花も遠く過ぎ去り、今はサツキが出番です。 ちいちゃなイチョウの若葉が背伸びし、一面のミドリの世界を見下ろしています。しかし樹木ごとに緑の色調は異なり、また常緑樹の葉っぱも見事に入れ替わり、どこも新緑や若枝で包まれて見通しが悪くなったように思います。

普段の平凡な日々を迎えるにあたり、私たちが心に期するものとして一つの実話を書いてみましょう。第二次世界大戦の時、ドイツの或る村は連合軍の激しい爆撃を受け、村の中心にあった中世の教会も大きな被害にあいました。戦争が終わって、村人達は教会を元のカタチに復元しようと汗水を流して働き、細心の注意を払って爆弾で飛び散り破壊されたものを集め、つなぎ合わせ、根気よく由緒ある教会を元通りに復元しようと頑張りました。こうして教会の屋根、外壁、入口のファサード、内陣と修復の仕事は順調に進みました。きっとドイツ人の気質･頑固さや綿密さが大いに発揮されたのでしょう。周りに四散した祭壇や聖櫃も聖人像も何とかつなぎ合わせて原型を回復した後に、祭壇正面の背後の壁に掛かる大きな十字架を修繕すべく、あらゆる努力を傾けたのですが行き詰まりに陥りました。何と十字架の横木に釘付けられたイエスの腕そのもの、右手も左手も見つからないのです、どんなに何処を何回探しても。きっと爆風で粉みじんに、飛び散ってしまったのでしょうか。十字架の縦木にはイエスの身体像そのもの、茨の冠をかぶった頭部が残り、イエスの右手も左手も欠けた横木だけ、何とも奇妙な無残な十字架です。

この十字架をどうするのか、祭壇の背後に以前のまま掲げるのか、それとも新しい十字架像を買って取り替えるのか、教会の信者たちは大いに困惑し議論を繰り返しました。しかし最後に主任司祭は、よく祈りよく考えた末に決定を下しました。イエスの右手と左手の部分･横木に一文を書き記したのです。 「私はあなたがたの手以外に、自らの手を持たない。Ich habe keine andere Hände außer eure 」と。そしてこの手の無い十字架は全世界に有名になり、考えこませる十字架になりました。

皆さんはどのように受け止めますか。確かにイエズスは全き神として、全能の力を持っている方です。しかし人々を助け救うために、イエスは伸ばしている手を引込めても、彼の手と成り代わって働く私たちの手を待っておられるのでは。イエスの十字架の前に私たちが懐手をしたままで、イエスに代わって手を伸べないでは申し訳ないのでは、汚い手であっても、損をしても、イヤイヤでも。不思議なめぐり合わせによって、私たちの家族や友人また地域や仕事や生活があります。そのご縁によって、他ならない私だけ･あなただけ出来る事、差し伸べる手が必要になるのでは。イエスの手となり腕となって、傷ついても疲れても、喜んで勇ましくこの手を伸べ、大いに働きたいものです。

中村健三　合掌

【 2021 年 5 月予定表 】

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
復活節第 5 主日	聖フィリポ 聖ヤコブ使徒	教会受付休み(～5 日迄)			初金曜日ミサ 7:00 10:00 聖体顕示	
9	10	11	12	13	14	15
復活節第 6 主日 世界広報の日(献金)					聖マチア使徒	
16	17	18	19	20	21	22
主の昇天 小教区評議会 12:30						
23	24	25	26	27	28	29
聖霊降臨の主日	教会の母聖マリア			定期清掃		
30	31					
三位一体の主日	聖母の訪問ミサ 7:00 10:30 ロザリオの祈り 10:00					

次回5月号の発行は、6月3日(土)です。

原稿は毎月15日ごろまでに教会受付へ直接ご持参いただくか、FAX やメールでお願いいたします。皆様からの原稿をおまちしております。あわせてご意見もお寄せください。　　(広報部)

http://www.rokko-catholic.jp

六甲カトリック教会

〒657-0061　神戸市灘区赤松町 3-1-21
電　話　078-851-2846
F A X　078-851-9023
E-メール　renraku@rokko-catholic.jp
発行責任者　アルフレド・セゴビア
編　集　広報部